

# 淡海ふれあい病院の紹介

滋賀県下58  
番目の病院

2021年2月2日(火)

湖南圏域2025年地域医療福祉  
推進協議会

病院の目標: 病院機能分化を達成し、新病院として地域医療と社会発展のために貢献する。



淡海ふれあい病院の外観

淡海ふれあい病院は、地域密着型の拠点病院として、回復期・慢性期医療と在宅医療を積極的に推進していきます。

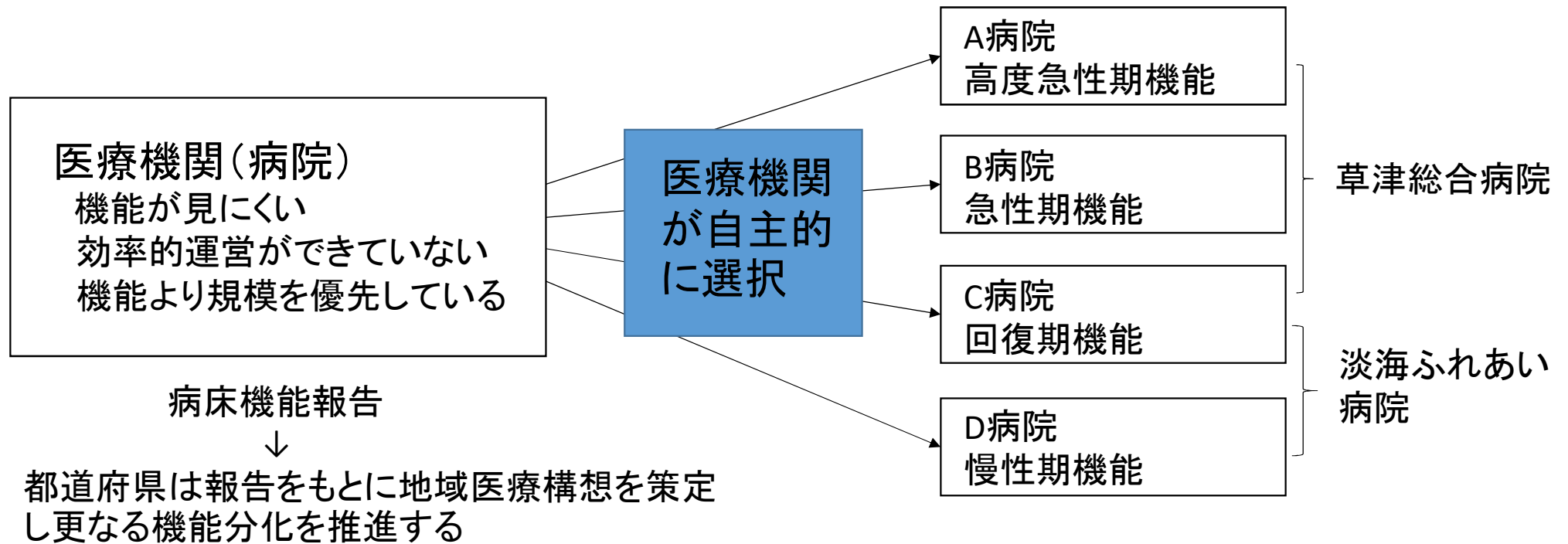
社会医療法人 誠光会  
淡海ふれあい病院 院長  
平野正満

## 地域医療構想と病院分離の考え方

地域医療構想とは、

- 1、医療を高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4機能に分類した。
- 2、医療機能の分化と連携を進め、持続可能な医療提供体制を実現する。
- 3、将来の医療需要と病床の必要量を推計、病院改革を求める。

2019年9月26日に厚労省は全国の公的な424病院に対し、再編統合を求め、病院名を公表し、社会問題化した。



# 淡海ふれあい病院(慢性期病院)が誕生するまでの流れ



地域医療構想の中で  
草津総合病院の在り方  
のパラダイムシフト

平成27年4月  
厚労省が地域  
医療構想を提  
唱し、病院の  
在り方が議論

平成30年4月  
病院分離決定  
に伴い 病院  
機能再編プロ  
ジェクトがス  
タート

令和2年1~2月  
新棟完成  
じん臓病ケア総  
合センター新設  
地域包括ケア病  
棟移転

新病院はC棟、D  
棟からなる199  
床で運営

令和2年5月13日  
地域医療構想調  
整会議（湖南圏  
域）  
→承認

令和2年8月26日  
滋賀県医療審議  
会  
→承認

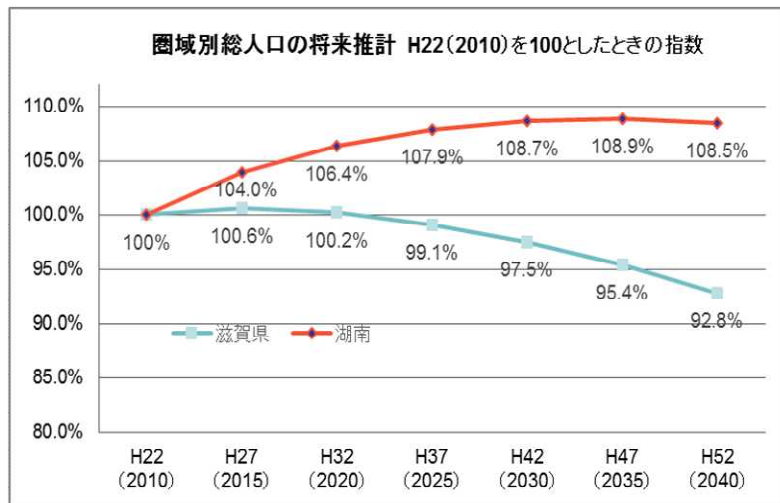
令和2年9月1日  
保健所の使用前  
検査→承認

コロナ禍でようやく  
令和2年9月1日付で  
県知事からの承認

近畿厚生局から  
・使用許可、・開設  
許可、・保険医療機関  
の許可

**令和2年10月1日(木)**  
**淡海ふれあい病院の  
開設**

# 淡海ふれあい病院の役割と機能(人口動態、病床機能、地域医療構想)



	2013年 医療機関 (人/日)①	2025年 医療機関 (人/日)②	参考	増減(人/日)		+流入 -流出 ②-③
			2025患者住 所 (人/日)③	②-①		
高度急性期	181	221	217	40	122%	4
急性期	616	779	697	163	126%	82
回復期	588	803	751	215	137%	52
慢性期	476	479	475	3	101%	4
計	1,861	2,282	2,140	421	123%	142

人口10万人あたり療養病床		
全国	244.7	
草津市	173.4	(約70%)

## 淡海ふれあい病院の重要な役割

- 急性期医療を補完する回復期機能  
(在宅復帰困難な患者、身体機能低下した患者、在宅管理指導を要する患者など)
- 地域からの亜急性期患者の受け入れ  
(地域包括ケアシステムを支える医療、在宅療養支援病院)
- 医療ニーズの高い介護認定患者  
(要介護3以上、医療区分2, 3の患者)

- レスパイト入院(在宅介護の後方支援)
- 訪問診療の取り組み  
(在宅医療の連携・推進)

## 淡海ふれあい病院

“淡海”とは淡水の海を意味し、その昔は琵琶湖やその周辺を指し、旧国名としても使われていました。今では“おうみ”と呼ばれていますが、“あわうみ”が訛って“おうみ”になったと言われています。

“ふれあい”は新病院の理念にある信頼や安心、優しさを表現し、言葉の持つ響きや呼び易さなどにも考慮し決定しました。地域社会とのふれあい、人と人とのふれあい、医療の原点であるこころのふれあいを大切にしていきます。

# 淡海ふれあい病院の概要

2021年1月1日の時点

名称: 社会医療法人誠光会 淡海ふれあい病院

診療科: 内科、外科 じん臓病ケア総合センター(腎臓内科): 透析機器70台を併設

診療日、時間: 月～金 9:00～17:00(主に一般外来)

病床数: 許可病床 199床 地域包括ケア病床 100床／医療療養病床 99床

附属する施設: 草津介護医療院 100床、居宅介護事業所 ふれあい

職員数: 医師: 7名(常勤医師のみ)、看護職員: 104名、専門職: 46名、事務職員: 13名  
、医師事務作業補助者: 4名、その他若干名

## 病院組織図

淡海ふれあい病院 院長: 平野正満 副院長: 巖西真規 看護部長: 西村寿加代	診療局 医局会 部門ミーティング	内科(副院長、医局長)	
		外科(院長)	
病院運営会議 理事長: 北野博也 事務長: 黒田吉則		腎臓内科(じん臓病ケア総合センター)	透析センター
		在宅診療科	訪問診療
		看護部(病棟、外来、管理室)	2D、3D病棟
			3C、4C病棟
		診療技術部(6部署、急性病院と兼任)	薬剤科、放射線科、栄養科など
	事務部、つなぐステーション(患者支援)	医事課、地域連携課	
			医師事務作業補助課

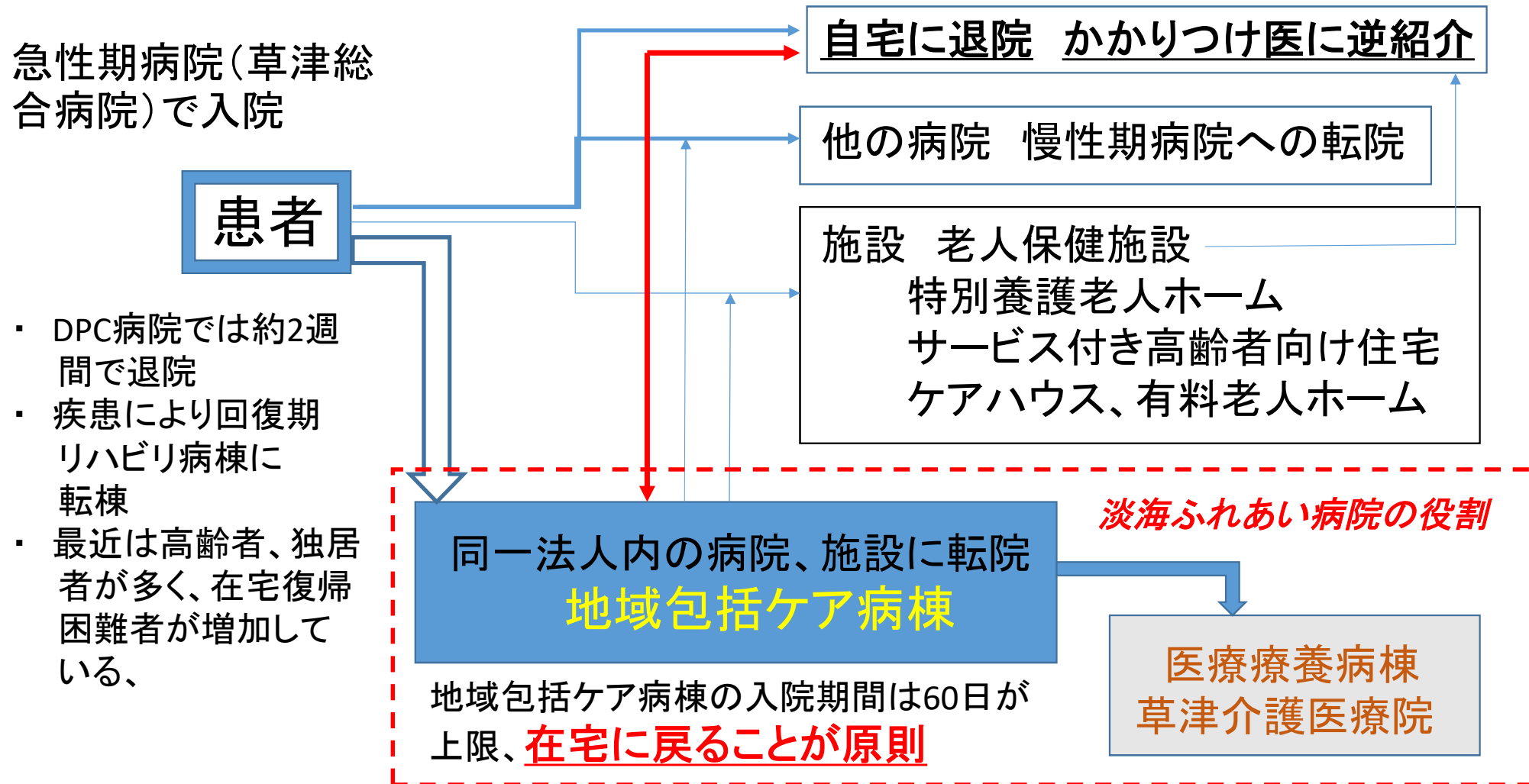
## 淡海ふれあい病院(回復期・慢性期病院)の内訳

淡海ふれあい病院は一般100床、療養99床の計199床で認可を得ている。C棟の99床、D棟の100床で運営することになる。介護医療院の100床は、淡海ふれあい病院の内包型施設として、病院と連携して運営するため、全体として299床を管理することになる。

慢性期病床	C棟	6階	草津介護医療院	なごみ棟	50床
		5階	草津介護医療院	こころ棟	50床
		4階(4C)	医療療養病棟		50床
		3階(3C)	医療療養病棟		49床
				診療局、看護部、薬局、手術室	
		2階	管理部門	リハビリ室	
		1階	受付、外来部門	受付、外来、放射線科、検査科 医事課、地域連携課、会議室 居宅介護事業所(ふれあい)	
亜急性期、回復期病床	D棟	3階(3D)	地域包括ケア病棟	内科系病棟	50床
		2階(2D)	地域包括ケア病棟	外科系病棟	50床
			じん臓病ケア	血液透析:70台	
		1階	総合センター	診察室、指導室	

# 淡海ふれあい病院の役割と患者の流れ

## 地域包括ケアシステムの実現、時々入院・ほぼ在宅を定着させる





3 社会医療法人 誠光会  
入院患者さんの安心ロード

慢性期治療・療養は淡海ふれあい病院で

リハビリや安定療養など頑張りましょう！  
主治医をはじめとする病院の全てのメディカルスタッフが、チーム一丸となって支えます

急性期病院を退院  
したばかり…  
まだ不安

居宅系介護施設  
食欲低下、腰痛悪化  
どうしよう…

在宅療養中に介護者が  
急に病気になる

これからどうしたら  
よいのやら…

つなぐ  
ステーション

そうだ！  
つなぐステーション  
に聞いてみよう！

入院

退院カンファレンス

退院後の在宅療養の相談  
患者さん・家族  
主治医・かかりつけ医  
病棟/継続看護師  
薬剤師・かかりつけ薬局  
在宅支援チーム  
ケースワーカー  
ケアマネージャーなど

退院準備  
開始

リハビリ&療養

スタッフミーティング  
安心して地域に退院できる様  
入院時から療養・リハビリについて  
話合います。  
看護師  
リハビリ担当者  
ケースワーカー  
ケアマネージャーなど

安心して  
退院

在宅療養も少し不安  
があるな～

そうだ！  
在宅診療部にお願ひしよう！

在宅診療部

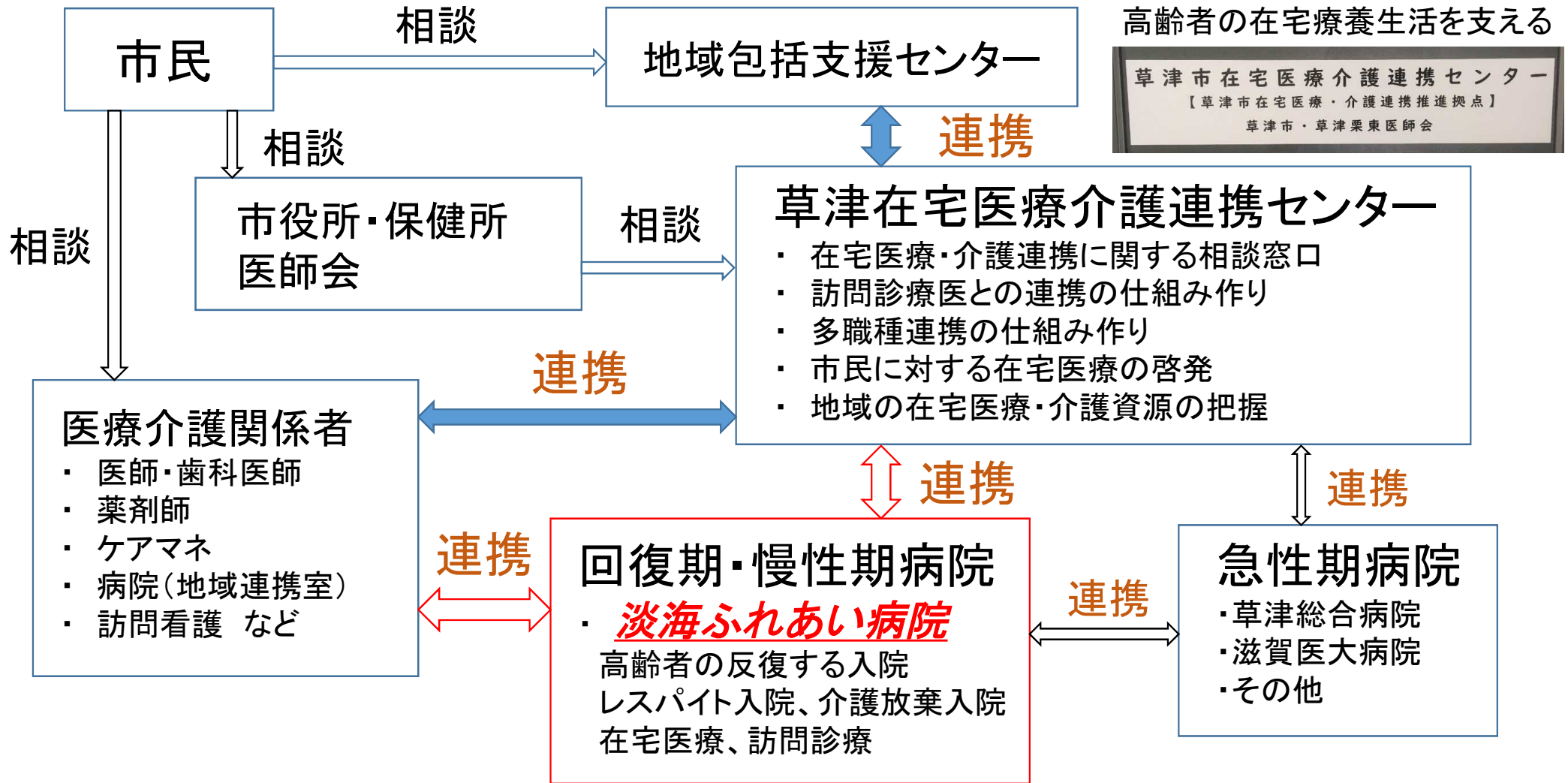
安心して在宅生活が安定するよう  
在宅診療医が看護師と共に訪問します。

急に具合が悪くなった時は草津総合病院  
で検査・治療が即対応できます

在宅  
みんな  
ありが  
とう！

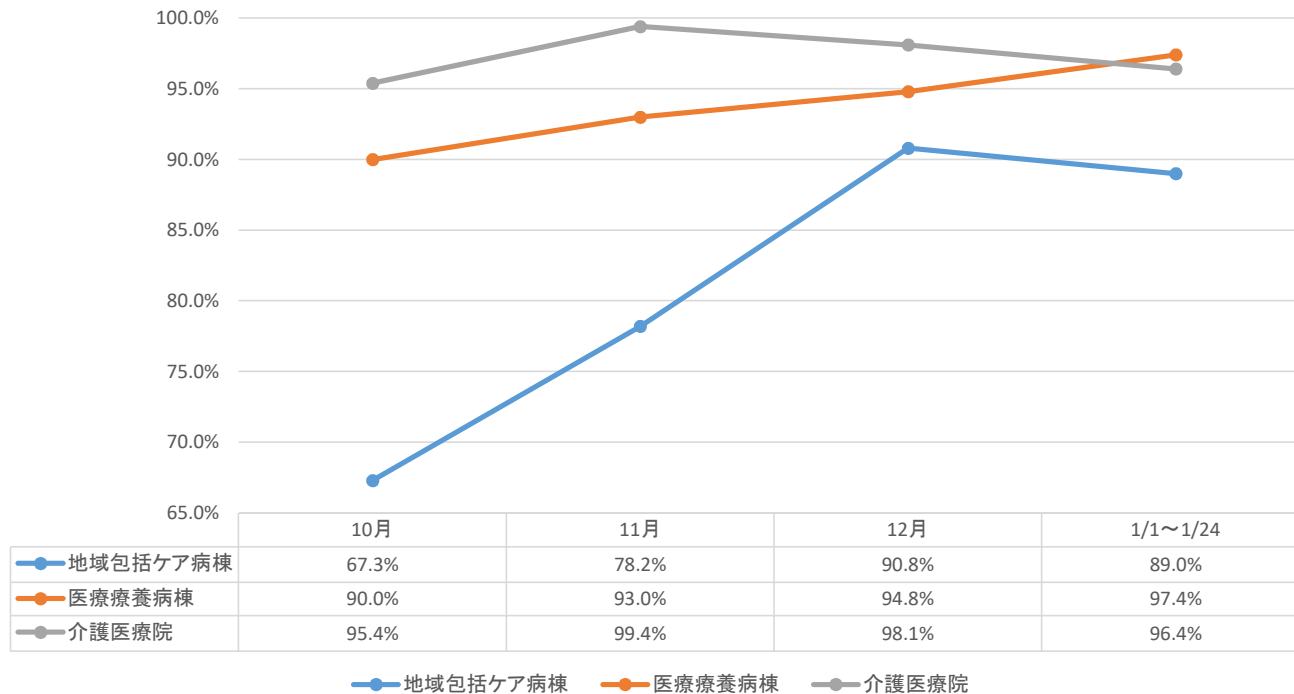


# 淡海ふれあい病院と草津在宅医療介護連携センター



# 淡海ふれあい病院の3か月間の稼働実績

淡海ふれあい病院稼働率推移(月別)



草津介護医療院や医療療養病棟は90%を超える高稼働でスタート。地域包括ケア病棟は当初、草津総合病院からの紹介が少なく、稼働が低迷。しかし、徐々に増え、現在は90~95%の稼働である。

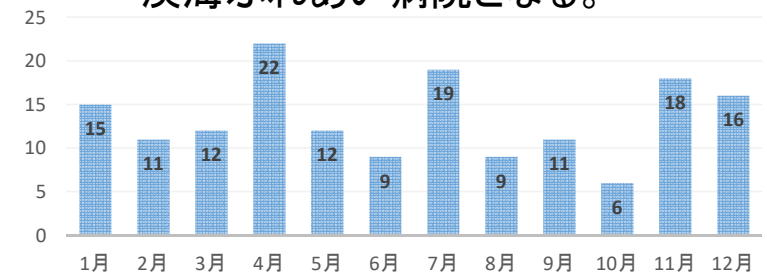
## 訪問診療の実績(6名)

- ・膵癌 死亡 1件
- ・肺癌 生存 1件、死亡 1名
- ・末期COPD(在宅酸素)  
生存 1名、死亡 1名
- ・慢性腎不全 死亡(他病死) 1名

うち 独居の方 2名

## 地域医療サポートカー

2020年10月から、運行管理者が淡海ふれあい病院となる。



新型コロナウイルス感染症拡大により2021年1月19日からサポートカーの運用を中断した。

# コロナ禍での淡海ふれあい病院の対応、対策

## 病院対応の原則：コロナを入れない(患者)、持ち込まない(職員)

職員に対して：

- 1, 感染対策の励行
- 2, 医療人として規範ある行動、健康チェック・管理
- 3, 感染状況を把握(病院は絶えず感染状況を発信)

患者に対して：

- 1, 入院時は、PCR検査などでコロナ陰性を確認
- 2, 入院中はマスクを着用、感染対策に協力
- 3, 面会禁止、発熱外来に誘導

コロナ専用病床はない。  
草津総合病院からの一般患者を受け入れ、急性期医療を支援する。さらに、退院困難な治療後のコロナ患者の一部を受け入れる。



始業時の一斉清掃(病棟)



じん臓病センターの間仕切り



コロナ疑似患者対応の透析用テント

## 病院の機能分化を実現する！

今後、発展を続ける草津総合病院と新たにスタートした淡海ふれあい病院に皆様の暖かいご支援とご協力をお願いします。

